

平成25年4月24日に「全国学力・学習状況調査」を実施しました。その結果が文部科学省より送られてきましたので、3年生の生徒には個人の結果をお返しします。

本校では、その結果を分析し、生徒の学習状況を把握して今後の学習指導や学習改善に役立てていこうと考えています。

《調査の内容》

(1) 教科に関する問題

この調査は、国語、数学について行われ、国語と数学についてはA問題とB問題が設定されています。A問題は主として「知識」に関する問題が、B問題は主として「活用」に関する問題が、それぞれ出題されました。

(2) 質問紙による調査

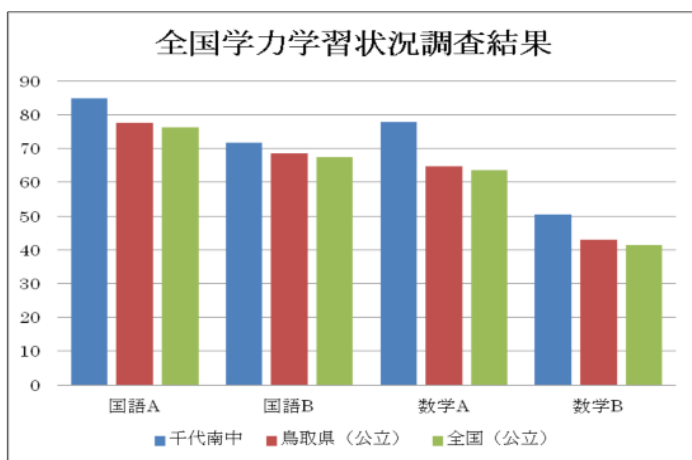
この調査では、生徒の基本的な生活習慣（就寝・起床時間、食事、家庭での生活など）や、学習に対する意識、インターネット・携帯電話の利用、友人関係などについて、質問に答える方法によって調査されました。

また、国語、数学に対する意識や学習への取り組みの様子についても聞かれています。

本校では、PTA研修会やホームページ、学校通信等を通じて、本校生徒の学習や学習状況の特徴、今後の学校の取り組み、保護者の皆さまへのご協力のお願いをお知らせしていきます。それに先立ち、教科の正答率と、質問紙に見える生徒の特徴について紹介します。



《千代南中学校生徒の特徴～調査結果より～》



[全体の傾向]

本校3年生の平均正答率は、2教科ともに全国平均を上回っています。特に数学A（知識）の正答率では全国を14.1ポイント、数学B（活用）は8.9ポイント上回っています。国語A（知識）は8.4ポイント、国語B（活用）は4.3ポイント高くなっています。両者の比較から、本校3年生は2教科とも学力はおおむね身についていることが分かります。

科目別平均正答率

	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B
千代南中学校	84.8	71.7	77.8	50.4
鳥取県(公立)	77.6	68.6	64.8	43.0
全国(公立)	76.4	67.4	63.7	41.5

《教科に関する問題における千代南中学校生徒の特徴》

国語

○国語 A について

・特に「書くこと」が高く、「読むこと」は市、県、全国とほぼ同じ値である。

○国語 B について

・特に「言語についての知識・理解・技能」が高く、「読むこと」は市、県、全国とほぼ同じ値である。